

稗原ダム竣工

5月19日
(木)

農業用水の確保を



稗原ダムの様子(4月25日撮影)



稗原ダムについてのおたずねは
農林基盤課
(2211内線5421)



来年3月までに完成する予定の稗原ダム湖水公園。ベンチや東屋があり、水辺の風景を楽しむことができます(4月22日)

稗原地区県営かんがい排水事業の一環となる、出雲市初の本格的な貯水ダム「稗原ダム」(野尻町と雲南市三刀屋町根波別所地内)が、5月19日に竣工します。現在、稗原や朝山(一部)地区の農業用水は、河川や約600か所のため池から取水しています。しかし、農業用水の安定した供給が確保できないことや、ため池の相当数は老朽化が進んでいることから、地元からダムの建設が望まれていました。かんがい排水事業は、農業用水の確保を目的として、ダム建

設と用水供給のパイプライン設置を行うものです。平成11年5月から建設を進めていたダムの建設費は約98億円(うちダム本体約48億円)で、109万立方メートル(出雲ドーム約2杯半)の水を蓄えることができます。ダムから農地へ水を送るためのパイプライン工事は、平成19年3月に完成する予定です。これにより250ヘクタールにおよぶ田畑に水が行き渡ります。また、ダムを一望することができます。また、ダムを一望することができます。また、ダムを一望することができます。また、ダムを一望することができます。

21世紀日本のふるさと

出雲の國の創造を目指し

出雲市長 西尾理弘

西尾市政スタート

このたび、市民の皆さま方から強いご激励とご支援を賜り、新生「出雲市」の初代市長の栄に浴し、出雲新市政の重責を担うことになりました。皆さまの新しい市に寄せられる大きな期待に応えるべく、私自身皆さまとともに、躍進する『悠久のロマンと夢育む日本のふるさと出雲の國づくり』に渾身の努力を傾注する覚悟です。出雲市・平田市・佐田町・多伎町・湖陵町・大社町の2市4町からなる新「出雲市」は、古来より神話の夢舞台として、豊かな自然と文化・歴史に恵まれた、全国的にも最も発展の可能性の高い21世紀都市です。出雲平野1万年の歴史の中、それぞれの地域が培ってきた文化・伝統・エネルギーを結集し、合併協議の中で結実した『日本のふるさと出雲の國づくり』の

6つの基本目標、すなわち、産業創造都市・人材育成都市・交流拠点都市・観光神話都市・環境先進都市・健康文化都市の着実な前進こそ、私に課せられた大きな使命であり、責務であります。国の特別な支援が保障される合併後10年のまちづくりが、合併の成否を決するといわれています。われわれは、前途多難な行政課題や財政難に屈することなく、慎重かつ大胆に将来を見据え、創意工夫を凝らし、メリハリをつけた特色あるまちづくりに向かっていかなばなりません。絶えず出雲が進めば、島根も進む、島根が進めば日本も進む、との思いと展望を持って、前進、前進、また前進の気概で新市のまちづくりにまい進すべきものと改めて決意を固めております。

現下の厳しい経済情勢を考えると、「産業振興」と「都市基盤の整備」が必要不可欠です。さらには、今後の発展のために、歴史と伝統にあふれた本地域においては、『出雲観光大国』の建設こそが、新たな、そしてきわめて重大な課題と考えております。今後、市町村合併から都道府県連携協力の時代を迎え、新市は萩から鳥取に至る西部西日本海域の中心となるべく、新たな拠点都市としての発展を期してまいります。こうした状況の中で、私もさらに精進を重ね、15万市民の皆さまとともに手を携えて『21世紀日本のふるさと出雲の國の創造』に前進しようではありませんか。新市政に向かってのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

就任式(4月19日 議場)